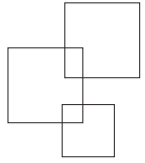


9月定例会では、9月4日から6日にかけて19人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合により、1人1問の質問と答弁の要旨を紹介しします。

なお、一般質問の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただくことができます。

また、定例会の正式な会議録は、各市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで12月下旬からご覧いただくことができます。



## 図書館司書の処遇改善について



立憲民主党 岩瀬 僚

**議員** 本市の図書館における司書資格を有する職員の人数、正規・非正規の割合、世代別人数および男女比について伺います。

**文化スポーツ部長** 学習文化課所管の図書館では、司書資格を有する職員は16人、うち正規職員は2人で12.5%、非正規職員は14人で87.5%、世代別人数は、30歳代2人、40歳代9人、50歳代5人で全員女性です。美術館・図書館では、司書資格を有する職員は5人、うち正規職員は4人で80%、非正規職員は1人で20%、世代別人数は30歳代2人、40歳代2人、50歳代1人で、全員女性です。

**議員** 専門的な知識を有する非正規職員の処遇改善について伺います。

**企画部長** 本市の会計年度任用職員は、事務補助員の他、専門的な職種を含め全32職種がありますが、図書館司書の職種はなく、事務補助員として任用しています。処遇改善としては、物価上昇および最低賃金の上昇に対応

するため、令和5年度より給料の増額改定を行いました。



**議員** 図書館司書資格を有する職員は、専門性の高い業務を担っており、適正な任用や勤務条件の確保のため、十分な予算措置が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

**市長** 事務補助員としての採用であり、図書館司書資格をもって専門職に変える計画はありませんが、重要性は十分に承知しています。給与については、今年度より時給を950円から1,085円に大幅に増額しています。また、法改正により、勤勉手当が支給可能となりますので、周知に努めていきたいと考えます。



## おうかがい市バスの 利便性向上について



創政クラブ 高田 靖

**議員** おうかがい市バスの利用要件の緩和により、高齢者の外出や交流の機会が生み出されると考えます。そのためには、運転免許証の有無、介護認定、介助者の登録可否などの要件緩和が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

**市長** 高齢者の外出機会を増やし、自ら行動する積極性を持ってもらうためにも、制度の充実が必要と考えます。運転免許証の有無や、要介護度に係る要件など、全体的な要件緩和に向けて具体的に検討していきたいと思えます。また、現在は車両7台で運行していますが、利用者の増加に伴い、2台程度の増車が必要と考えています。



**議員** 現在、おうかがい市バスの利用料金は、現金支払いのみとなっていますが、ぜひOTACOを使用できるようにしていただきたいと思えます。また、民間のタクシーについてもOTACOを使用できるように対応することで、普及促進にもつながると考えますが、おうかがい市バスと民間タクシーにおけるOTACOとの連携について、市長の所見を伺います。

**市長** 来年度、住民税非課税の高齢者世帯などに対し、タクシー券の代わりとして、3万円程度を支給したいと考えていますので、積極的におうかがい市バスやタクシーを利用していきたいと思えます。また、支払い方法についても、OTACOが使用できるよう推進していきたいと思えます。

### ■その他の質問

- ・公共施設の適正配置・再編成について
- ・市民重要度の高い道路網の整備について



## 本市のICT教育について



太田クラブ 大川 敬道

**議員** 職員室および体育館におけるWi-Fi環境の整備の必要性について、所見を伺います。

**教育部長** 学校現場では、タブレット端末を用いた授業の多様化に伴い、職員室および体育館への設置要望があり、必要性は高いと考えます。

**議員** Wi-Fi環境の早期の整備を要望しますが、進捗状況について伺います。

**教育部長** 現在、小中義務教育学校全校の職員室および体育館でWi-Fi環境が整うよう設計を進めています。

**議員** Wi-Fi環境整備のスケジュールについて、伺います。

**教育部長** 今年度中に工事を完了し、来年度からの利用を予定しています。

**議員** ICT教育の環境整備のため、特別教室への大型ディスプレイの設置について、所見を伺います。

**教育部長** Wi-Fi環境が整い次第、活用度を踏まえ計画していきたいと思えます。

**議員** Wi-Fi環境と大型ディスプレイの整備により、効果的な授業が行えると考えますが、教育長の所見を伺います。



**教育長** 本市のGIGAスクール構想に基づき、個々の意見を瞬時に表示して協議し合えるディスプレイの活用は、有効であると考えます。今後、予算の状況や校長会の要望を鑑み、検討していきたいと思えます。

**議員** 特別教室への大型ディスプレイ設置について、市長の所見を伺います。

**市長** 教育委員会が必要であると考えるものについては、できるだけ早く設置していければと思えます。

### ■その他の質問

- ・ごみステーションの美化について



## 主権者教育の現状と 投票率向上について



太田クラブ 山水 めぐみ

**議員** こども選挙とは、正規の選挙と同時開催され、実際の候補者に対して投票を行う、子どもの、子どもによる、子どものための選挙です。令和4年10月に神奈川県茅ヶ崎市の市民団体が実施し、各地に広がりを見せていますが、こども選挙について、所見を伺います。  
**総務部長** 子ども自身が具体的な投票活動を経験することで、将来有権者となった時に、選挙をより身近に感じることができるのではないかと期待しています。

**議員** 政治分野における主権者教育について、市長の所見を伺います。

**市長** 子どもたちが考える力、物事を多方面から見る力を身に付けることが大切であると考えます。

**議員** 子どもたちが意見を表明する機会、リアルな学びとしてのこども選挙とその効果について、所見を伺います。

**市長** こども選挙の効果の検証は、非常に長い期間を要し、結論付けることが難しいと思えます。また、子ども

ちは公約を理解することも難しいと考えるので、多方面から物事を考える機会としては、ふさわしいと思えます。

**議員** 選挙管理委員会や教育委員会の協力を得られれば、投票率向上への効果も期待できると考えます。また、子どもたちに分かりやすい言葉で公約を説明することで、考える機会にもつながると思いますが、所見を伺います。

**市長** 選挙と同時開催するよりも、学校内で行われる選挙を充実させる方法がいいと思えます。学校の中で、収入や支出はどうするか、どうしたら生徒が笑顔になれるかなど、自ら考える活動を通して、選挙が身近になるよう訓練していければと思えます。

